

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376400228
事業所名	グループホーム長篠の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ワクチン接種2回目を契機にボランティアの訪問を受け入れていましたが、新城市内のコロナ罹患者が急激に増えて再び休止していました。10月から再開の目処がたち、歌謡ショー「MIYOKO」、踊りのグループ「若柳の会」、オカリナ演奏と3つのボランティアグループの来訪を心待ちにしています。「若柳の会」からは利用者に「こころばかり」とのプレゼントも届いています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 管理者が市内の感染状況を鑑みて、「参加か、書面か」を判断しており、此処1年では2回の運営推進会議を書面開催としています。書面開催では管理者が2ヶ月分の活動報告をまとめ、メンバーである市役所、地域包括支援センター、区長、民生委員に届けています。参加では顔合わせることができ話し弾むものの、感染も気になるため時間を短めに切り上げています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 保険者である東三河広域連合と、新城市役所からはメール配信が随時あり、適宜確認して情報を得ています。事業所からの質問等の問い合わせ先は主に市役所で、諸所教えてもらっています。また地域包括支援センターからは利用者の照会があります。大抵満床で期待に応えることができにくかったのですが、本年度はタイミングよく1名成約となっています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 外出できないため、身体を動かすのは専ら生活リハビリを通じてとなっています。玄関の掃き掃除に役割を感じていた利用者は症状も進み現在は引退しましたが、ガタイのよい男性利用者が布団干しに励んでくださる事は、本人だけでなく職員も大歓迎として協力関係が構築されています。また移動バン屋では利用者一人ひとりに小銭を握ってもらい、好みのパンを選択する喜びにつなげています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								